

# 救急隊からのお知らせ

## 6月の出動件数

種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計
月別件数	25	6	7	9	47
累計件数	155	30	36	34	255

上段:平成22年6月中、下段:平成22年1月～6月の町内における救急出動件数です。

### 【普通救命講習会受講者募集】

急病や事故、一刻を争うとき、応急手当ができるのは、その場に居合わせたあなたです。そんな時のために、正しい応急手当の知識と技術を身に付けておきましょう。講習修了者には、『普通救命講習修了証』を交付します。

日 程：平成22年9月4日(土)  
 時 間：午前9時～12時(受付 午前8時45分～)  
 講習内容：応急手当の重要性、救命に必要な応急手当  
 (心肺蘇生法、AEDの取扱方法、異物除去法、止血法)  
 場 所：能勢町役場 西館3F会議室(能勢町宿野28番地)  
 定 員：先着30名まで  
 受講料：無料  
 申込方法：下記まで電話にてお申し込みください。



問 消防防災課消防防災係 734-0001(代表)591(内線)

## 無線式連動型住宅用火災警報器をご存じですか？

皆さんは、無線式連動型住宅用火災警報器をご存じですか？これは火災による煙や熱を感じた警報器が警報音を鳴らすと同時に、他の部屋等に設置された連動型住宅用火災警報器が無線で「ほかの部屋で火事です」などの警報音を一齐に発することが出来る住宅用火災警報器です。これによって、より早く火災に気付く事が可能になります。

住宅用火災警報器の設置が義務化された平成18年では、この連動型は配線が必要となり新築住宅やリフォーム時に設置されてきました。新しく出来たこの無線方式により、既存住宅にも連動型住宅用火災警報器が従来の住宅用火災警報器と同じく容易に設置することが可能になりました。住宅用火災警報器を設置する際は、一度ご検討ください。

総務省消防庁に寄せられた静岡県浜松市の事例【火災に早く気付き、命を取り止めることができた事例】  
 居住者は、住宅用火災警報器の音声により目が覚め、部屋に煙が充満し、窓際のカーテンが燃えているの

に気付いた。(子どもがライターで遊んでいたところカーテンに着火し、延焼拡大したもの。)慌てて子どもの手を引き屋外に避難することができた。  
 (総務省消防庁 住宅防火情報より抜粋)

問 消防防災課消防防災係  
 734-0001(594)

## 普通救命講習会を開催しました

6月20日(日)能勢町役場西館3階会議室において、平成22年度第1回普通救命講習会を開催しました。当日は15名の方が参加し、AED(自動体外式除細動器)を用いた心肺蘇生法や止血法等についての講習を実施しました。

